

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

青少年の自立支援に向けてリーフレットを発行し、アンケートを実施します

横浜市では、若年無業者(ニート)や社会的ひきこもり状態にある青少年の自立支援に役に立つリーフレットを発行しました。あわせて国や県、NPO、企業などの機関・団体と協力して若年無業者本人や保護者等のニーズを把握するための実態調査を実施します。実態調査では、本人や保護者へアンケート用紙を配布し、調査への協力を依頼すると共に、インターネットを活用して本人や保護者のみならず、不特定多数の市民からも青少年の自立支援のありかたについて意見を聞きます。

➡ **リーフレット『For You-自立への一歩を踏み出したいあなたへ』を発行!**

ともすれば「ニート」として一言で括られてしまう若年無業者ですが、自宅でひきこもり状態にある若者から軽度発達障害ゆえに仕事が長続きしない若者、就職のテクニックさえ身に付けば、すぐにでも正社員になれる若者などその状態やニーズは、千差万別、十人十色です。従って、彼らの自立に向けた支援策についても、一人、ひとりの状態やニーズに応じたものである必要があります。

今回、横浜市が発行した『For You-自立への一歩を踏み出したいあなたへ』では、市内で若者の自立支援のための活動を行う公的機関やNPO、企業が提供するサービスメニューを5つの段階(「まず電話してみる、相談してみる」「自分の居場所を見つけ、社会体験を積む」「就職について相談してみる」「就職に向けて自分を磨く」「自分にあつた仕事を探す」)に分類して紹介。若者が自分の心身の状態や生活スタイルに応じて社会経済的な自立に向けたきっかけをつかむための道標となる内容になっています。

リーフレットは、5000部発行。10月上旬から各区役所の福祉保健センターや市内の若者自立支援機関・団体で無償で配布しています。

➡ **全国初! 国、県、NPO、企業とのコラボレーションで実態調査を実施**

若年無業者の生活ニーズや実態を把握することは、彼らの自立支援のための施策や事業を実施していくうえで極めて重要なことです。ところが、これまでは本人達とのコンタクトが難しい等の理由で、アンケートなどによる若年無業者のニーズ及び実態把握のための調査が、国や自治体レベルでも十分には実施されてきませんでした。

今回、横浜市では、市内にある国(ハローワーク)や県、NPO、企業などが運営する若者の自立・就労支援機関(ヤングジョブスポットよこはま、かながわ若者就職支援センター、よこはまヤングワークプラザ、就職shopヨコハマ、横浜自立塾Y-MAC等)の協力を得て、これらの機関・団体の窓口等で若年無業者本人や保護者を対象にアンケート用紙を配布する方法で調査を実施し始めました。これだけ多様な主体が連携・協力して若年無業者に対する調査を実施するのは、全国的にみても初めての試みです。

あわせて10月16日~11月15日まで、インターネットによる若年無業者本人や保護者、不特定多数の市民への調査も実施します。(<http://www.city.yokohama.jp/me/kodomo/>)

多くの市民の皆様にご協力頂きますようよろしくお願いいたします。